

# 春の大曲線



プラネタリアムムの話

No. 108

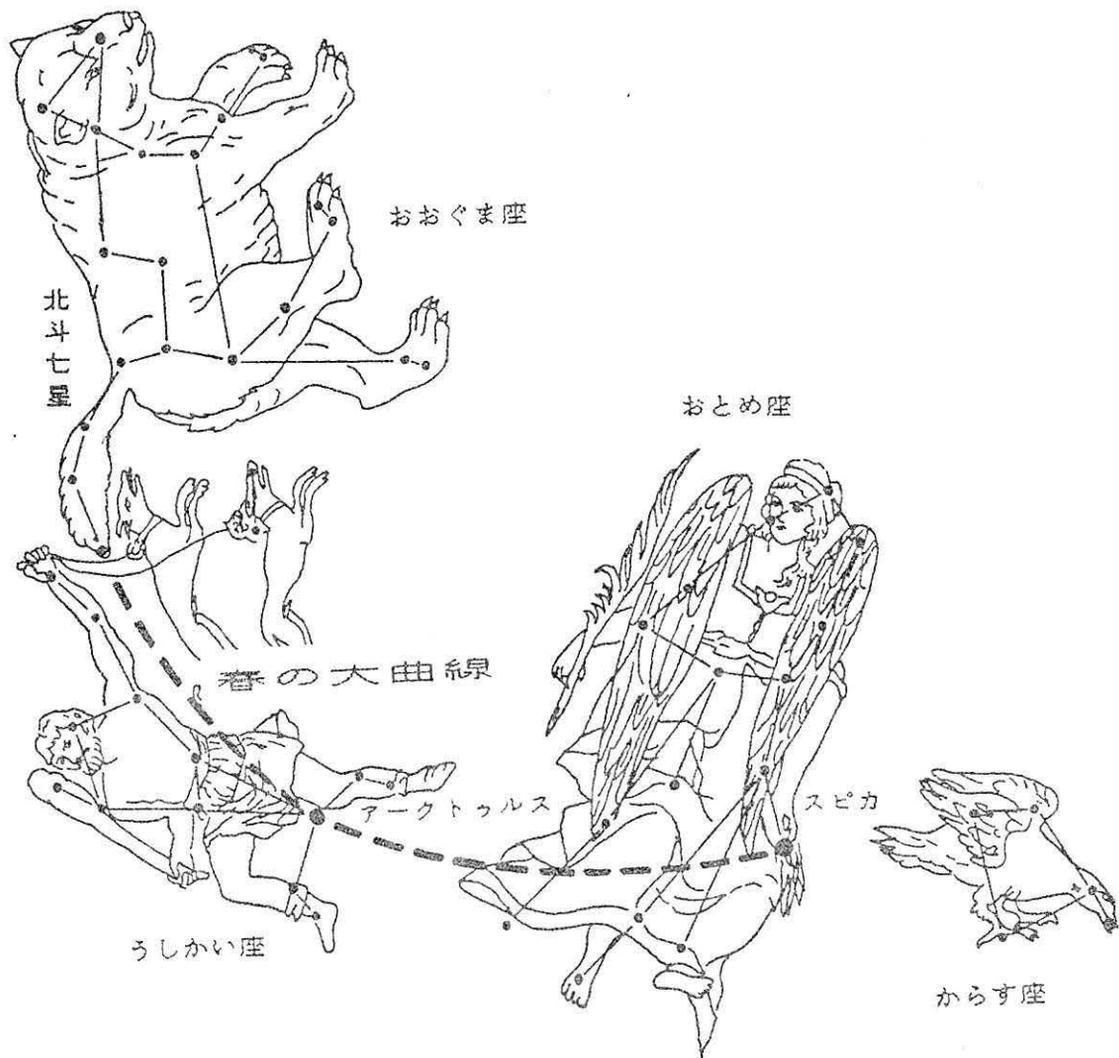
寒い冬が終わってよいよ春、<sup>いんみあけき ぶほ</sup>“春眠暁を覚えず”というわけではないのですが、春の星座にも“寝ぼすけ”がいるようです。それでは北の空を見て下さい。北の目印、北極星を探すための星の並びがあります。そうです、ひしゃくの形、北斗七星ですね。この北斗七星のある星座が「おおぐま座」です。春の陽気に誘われたのか背中を下にしてグーグー寝ています。

さて、ひしゃくの持ち手にそってヒューと曲線を描いていくと、アークトゥルスという一等星が見つかります。オレンジ色の明るい星で、日本では麦の刈り入れの頃、<sup>ぶい</sup>宵の空の天頂近くに見えることから「麦星」という呼び名があります。そしてこの星のある星座が「うしかい座」です。

アークトゥルスからさらに曲線を延ばすと、スピカという一等星が見つかります。この星は青白い色をしていて、日本ではその色から「真珠星」という名がついています。そしてスピカのある星座が「おとめ座」です。おとめも東の空にいる頃はまだ立っていますが、夜が更けてくるにつれて眠くなるのかだんだん体を倒していきます。

北斗七星のひしゃくの持ち手から、アークトゥルス・スピカと続く曲線は「春の大曲線」と呼ばれていて、春の星座を見つける目印になります。この春の大曲線の終点には小さい四角形の形をした「

からす座」があります。からす座はその形から、日本では「ほかけ星」、「はかま星」、「むじなの皮はり星」などという名前がついています。春の星座には、この他に、しし座、うみへび座、こぐま座などがあります。(hy)



## 富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒939)

電話 富山(0764) 91-2123(代表)

昭和62年 3月 7日 発行

富山市科学文化センターでは、星空のテレフォンサービスをしています。  
 いろいろな星のお話が聞けます。 TEL.(0764) 51-0199